

6月15日。4月7日の始業式・入学式から69日ぶりに、全校の子どもたちが顔を合わせることができました。分団登校では、一年生をいたわるように配慮して、ゆっくりと進む上級生の姿が見られました。教室では、2ヵ月ぶりの全員の再会に思わず笑顔がこぼれます。久しぶりの授業は、集中を続けることが少し大変ですが、一人でする勉強よりも仲間の意見を聞きながら進める授業は楽しいものです。家庭で種まきをした朝顔は、みんなと比べながらお世話ができるようになりました(※1)。

給食は高学年と低学年の2つに分けて実施をしています(※2)。おしゃべりができないことは残念ですが、おいしい給食を学級の皆がそろって食べることはそれだけでうれしいものです。

運動場の遊具は、使用前と使用後に必ず手を洗う約束をすることで、解放しました。休み時間になると、好きな遊具に駆け寄り、大喜びで遊び始めます。(※3)



(1)



(2)



(3)



(4)



(5)

火事や不審者の侵入への対応を学ぶために、命を守る訓練と不審者対応訓練を実施しました。3密を避けながら、身を守るための方法や約束を学びました(※4)。

6月22日に令和2年度前期児童会の認証式が行われました(※5)。井戸執行委員長をはじめ、各委員長と執行委員、学級委員が決定し、自分たちの生活を自分たちで創り出す日々のスタートです。井戸委員長の「伝統のあいさつを大切にしたい」という語りにつき、一人一人が新たな生活への願いをもって取り組んでいくことを確かめました。

こうして学校本来の姿に少しずつでも近づいていくことは、うれしいことです。「新しい生活様式」を受けて、今までの学校にはなかった取組もたくさんありますが、みんなの力を合わせて乗り越えていきたいと思います。

新型コロナウイルス感染予防にかかわって、運動会・修学旅行等、多くの行事が例年と形を変えていくことになります。子どもたちの安全と安心を第一に、保護者のみなさんの思いも大切にしながら、「よりよい形」を求めていきたいと考えています。そのためにいろいろなところで思いを集め、一つにしていきたいと思います。また、行事や学校生活の改善に当たっては、ご協力いただかなければならないこともたくさん出てくると考えられます。どうか、今まで以上のご理解とご協力をお願いします。